

第 9 2 5 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 6 年 4 月 2 6 日（金） 1 5 : 0 0 ～

場 所 保健センター 大ホール

益田市教育委員会

第 9 2 5 回 教育委員会定例会

招集年月日 令和 6 年 4 月 2 6 日（金） 1 5 : 0 0 ～

招 集 場 所 益田市立保健センター 大ホール

議事日程

第 1 会議録の承認について

第 2 教育長報告

第 3 議題

議第 8 号 益田市教育支援委員会の委員の任命について

議第 9 号 益田市社会教育委員の委嘱について

報第 1 6 号 「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について

報第 1 7 号 益田市文化財保護審議会委員の委嘱について

報第 1 8 号 秦佐八郎博士顕彰委員の委嘱について

報第 1 9 号 益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について

第 4 その他

（１）情報提供

（２）その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

領 家 芳 明
齋 藤 哲 瑯
原 田 笑
山 本 ひとみ

事務局職員

教 育 総 務 課 長
学 校 教 育 課 長
協働のひとづくり推進課長
文 化 振 興 課 長
学 校 教 育 課 参 事
匹 見 分 室 長
教 育 総 務 課 長 補 佐
教 育 総 務 課 主 事

齋 藤 勝 義
田 原 正 紀
岡 崎 健 次
田 中 一 史
杉 原 貴 宏
齋 藤 一 臣
植 田 拓 也
三 浦 菜々子

領家教育長

ただいまから第925回益田市教育委員会定例会を開催いたします。

では、会議に入ります前に、改めて一言ご挨拶を申し上げます。4月1日に市長より辞令をいただきまして、益田市の教育行政に携わらせていただくことになりました領家芳明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでのいろいろな経験を生かしていきながら、そして教育に携わる人々のお力を借りまして、ひとが育ち、輝くまち益田の充実に向けて、学校教育、それから社会教育、スポーツ振興、文化振興、それらを支える教育の基盤整備、そうしたものに携わっていきたいと思っています。教育委員さんの忌憚のないご意見を反映させながら、充実した教育委員会をつくり上げて、そしてそれを教育行政の力にもつなげていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

次に教育委員会の組織変更がありましたので、ご説明します。

これまで文化財課という課がございましたが、これを文化振興課に名称変更し、これまで協働のひとづくり推進課にありました文化芸術振興室を文化振興課へ移管しております。また、協働のひとづくり推進課内に新たに国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会準備室を設置しております。

以上が組織改編のことです。

続きまして、4月より人事異動によりまして事務局職員の変更がありましたので、これを紹介させていただきます。

新たに教育総務課長になりました齋藤課長、それから文化振興課長に田中課長、美都分室長に澄川分室長がまいりました。澄川分室長は、本日所用により欠席しておりますので、ここでは齋藤課長と田中課長から一言ご挨拶をお願いいたします。

齋藤課長

失礼します。

この4月1日から教育総務課長となりました齋藤でございます。皆さんに顔は知られていると思いますので、あまり長いことは言いませんが、5年間教育総務課長の補佐として従事してまいりました。これからは立場が変わりますけれども、また皆さんにご指導いただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

田中課長

失礼します。

私も以前は美都の分室長ということで、皆さんとはずっと関わってまいりましたが、このたび文化振興課長ということで、文化財の関係、それから芸術の関係ということで幅広く関わることに

なりました。私は専門家ではありませんので、なかなか専門的なことは難しいのですけれども、職員の皆さんが働きやすいように精いっぱい頑張っていきたいと思っております。今後とも、よろしく願いいたします。

領家教育長 どうもありがとうございました。

そのほか、各課の補佐も異動がございましたので、ここで紹介させていただきます。

教育総務課には、植田補佐、それから学校教育課に石田補佐、協働のひとづくり推進課に中島補佐、国スポ準備室の室長兼務となっております。また、文化振興課に田原補佐、文化芸術振興室の室長兼務となります。

補佐の異動は以上でございます。

今年度は、この新たなメンバーで教育委員会を運営してまいりますので、皆様方どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。

第 1 会議録の承認

領家教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第 2 教育長報告

領家教育長 続いて第 2、教育長報告に移らせていただきます。

私からは、4 月 1 日以降のところで心に残ったこと等についてご説明させていただきます。

最初は、4 月 8 日でございます。この日から、市内の全小・中学校で給食がスタートしました。そこで、場長であります齋藤課長と一緒に高津給食センターを訪問させていただきまして、調理に当たってくださる全ての方たちとお顔を合わせて、安心・安全な給食を作っていただくこと、あるいはいただいていることにお礼を述べるとともに、本年度も引き続きどうぞよろしくお願いしますというお話をさせていただきました。その後、3 年ぶりに益田市の給食を食べさせていただいて、これまで学校でも食べていたんですけれども、今回は直接作ってくださる方とお顔を合わせて、思いも少し聞かせていただきながら食べさせていただきましたので、これまで以上に愛と温かさを感じて、おいしく感じていたというような感じでございます。きっとこれからも、そうした安心・安全な給食、あるいは益田ならではの食材を使った給食を展開していただけるのではないかなと思いました。

翌 9 日には、市内の 3 つの高校、益田高校、益田翔陽高校、そ

れから明誠高校の入学式がございましたので、市長、副市長、私と3人で分担して出席してまいりました。私は、益田高校で市長の祝辞を代読させていただいたわけですが、今年の高校1年生っていうのは、3年、4年前の2月の終わりでしたか、安倍総理の全国一斉休校にいたしますといったときに5年生の3月の子どもたちでした。その後、全国一斉休校ですとか島根県も様々な形で休校しながら小学校6年生を過ごし、中学入学もそれぞれの形でやって、1年生、2年生が過ぎ、3年の5月によりやく5類移行になって、少しずつ学園生活を取り戻しながらの小学校後半、中学校と生活を過ごした子どもたちです。その子どもたち、たまたま私が最後の卒業式をした学年の子どもたちだったので、懐かしさもあったのですが、それ以上にその成長した姿、そんな中でも頑張って学校生活をやってきて成長した姿、それから益田高校の校歌をブラスバンド部が演奏しながらみんなで歌う。多分、久しぶりに校歌を歌うような場面だったんじゃないかなと思います。そんなことも含めて、保護者の皆さんも、そして子どもたちも、素敵なこれからの学園生活を夢見る素晴らしい会だったように感じました。

13日には、文化振興課の皆さんと一緒に妙義寺の裏にあります階段の竣工式に伺ってきました。正式名称は、妙義寺桜谷五輪塔で、約2メートルぐらいの見上げるような塔が、実は谷の間にあって、そこに行くのには民地を通らないとなかなか行けない状況だったんです。何とかこれを皆さんが訪れるようなことにしたいと、益田地域の協議会の皆さんが知恵を絞られ、市ともいろいろと検討を重ねられた結果、益田市の補助金100万円を利用しながら、あとプラスアルファでいろんな方たちからご寄附もいただいて、総額およそ150万円ぐらいの予算で、かなりの高いところからぐるぐるぐるっと階段が下りて直接行けるような、そんなところでした。そうしたまちづくりの協議会の皆さんですとか施工に当たりました業者の方たちとか、それから私たちと一緒に完工式、テープカット等をさせていただきました。

ちょうど、今年11月に益田市で全国山城サミットが開かれます。その中世のところもベースにしながら、いろんな町歩き等もイベントの中に仕組んでくださると聞いておりますけれども、この新たに完工されました階段を使って、かなりの段差があったりするんですけど、だけど本当に好きな人にとっては素晴らしい文化財じゃないかなと思いますので、そんなことにまた道が開けた、そんな心温まる会だったなと思いました。

その後、ボランティアガイドの皆さんが詳しい説明を地域の方にされて、地域の方もそれを味わっているような、そんな会でした。

最後になりますが、つい先日、19日にグラントワの企画展、111年目の中原淳一展のオープニングセレモニーに参加してまいりました。ドレスコードという言葉は僕は初めて聞いたんですけど、中原淳一さんのキーの色は赤だそうです。ですから、私は赤いハンカチをポケットに入れて、市長さんは真っ赤なネクタイを格好よく締めて、そんなドレスコードで出席してまいりました。中原淳一さんは、実は戦前から活動された方で、111年目ってというのは生誕から111年になるということでした。たまたまなんですけれども、この中原淳一さんの息子さんの連れ合いさんが財団をつくっておられて、このイベントをグラントワの学芸員さんと一緒につくり上げたということでお話をされました。何とこの開会の日が、中原淳一さんのご命日に当たる、不思議な縁を私も感じてますと、3年がかりぐらいでいろいろつくり上げた中で、またこういった展示物がたくさんありますので、戦前の雑誌があって、その雑誌の絵を描かれたのが中原淳一さん、赤を基調にしながら、今の子どもたちがもらってもうれしそうな雑誌の付録ですとか、そんなものも展示されたり、その後、雑誌の編集者になられたり、いろんなものをつくられたりというような形です。またお時間ありましたらご覧いただけたらと思います。

以上が主な活動になります。

続いて4月にいただいた寄附、寄贈等について紹介をさせていただきます。

資料は、次のページをご覧ください。

そこにあるような6社の企業様からいただきました。1つだけ紹介させていただきますと、これは毎年小学校1年生にいただくんですけれども、こんな交通安全のいろんな記号が入っている定規とか、ランドセルカバーですとか、防犯ブザーですとか、特に4月ですので小学校1年生に関わるような物品をたくさんいただきましたので、ご報告をさせていただきます。

私からの報告は以上でございます。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

教育委員

第 3 議題

議第 8 号 益田市教育支援委員会の委員の任命について

領家教育長 本日の議題ですけれど、協議案件が 2 件、報告案件が 4 件となります。

それでは、議案第 8 号のページをご覧くださいまして、益田市教育支援委員会委員の任命について、事務局より説明を求めます。

田原課長 それでは、私のほうから益田市教育支援委員会委員の任命についてご説明いたします。

次の資料をご覧ください。

益田市教育支援委員会につきましては、まずその設置目的は、教育上特別な支援を要する幼児、児童・生徒等の適切な就学の在り方等を検討するとともに、就学後の教育の充実を図るということを目的に設置されているものでございます。

委員につきましては、医療関係者、それから教育関係者、それから知識経験者という大きく 3 つのジャンルから委員を選出することになっております。具体的な個々の氏名等につきましては、資料のとおりでございますけれども、今回の任命に当たっては、新規の委員さんが 5 名、そして継続、引き続いてお願いする方が 10 名ということで、合計 15 名ということになっております。

委員の任期につきましては、2 年任期ということになっておりまして、令和 6 年 5 月 1 日から令和 8 年 4 月 30 日までの 2 年間ということになっております。

私からは以上でございます。

領家教育長 ありがとうございます。

そうしましたら、本件、採決に移りたいと思います。それでは、この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。

教育委員 = 全員挙手 =

領家教育長 挙手全員ということで、承認されました。つきましては、事務局におかれましては必要な手続等を進めていただくようお願いいたします。

議第 9 号 益田市社会教育委員の委嘱について

領家教育長 続きまして、議案第 9 号益田市社会教育委員の委嘱について事務局から説明をお願いします。

岡崎課長 それでは、社会教育委員の委嘱についてでございます。

社会教育法では社会教育委員を設置することができる規定にな

っておりまして、市の条例において委員を置くということで規定をしております。

委員につきましては、主な目的としましては、社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問や意見を述べていただく、調査研究などでして、このたび委員について任期満了に伴う更新ということになります。

表にありますとおり、新任の方は3名、残りの方は継続、再任ということで15名の方を提案させていただけたらと思います。新しい方につきましては、まず3番の方、鎌手地区で地域づくりに関わって活動されているUターンの方でございます。7番については、学校の校長先生にはなりますが、前任の方との交代ということで、真砂小の品川校長にお願いしております。13番につきましては、新たに着任していただきました益田地区の社会教育コーディネーターの方に配置させていただいているところでございます。

それで、1点訂正がございまして、8番の城市江梨子さんの肩書のところでございますが、就任当時は子どもと親の相談員ということでございましたが、現在のところにつきましては学級支援員というお立場ということでありますので、1点ほど訂正させてもらったらと思います。

私のほうからは以上でございます。

領家教育長

ありがとうございます。

そうしましたら、採決に移りたいと思います。本件について承認いただけます方は挙手をお願いします。

教育委員

=全員挙手=

領家教育長

挙手全員ということで、承認されました。つきましては、事務局におかれましては必要な手続等を進めていただくようお願いいたします。

報第16号

「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について

領家教育長

続きまして、報告案件に参ります。

報告第16号「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について、事務局より説明を求めます。

杉原参事

それでは、令和5年度、昨年度の3月に行われました「春休み！算数・数学パワーアップ教室」について報告させていただきます。

実施の期日ですが、小・中学生が学年末休業に入ります3月2

5日から3日間、27日まで行いました。場所は、今回市民学習センターで行いました。参加者ですが、講師として島根大学の学生が10名、松江工業高等専門学校の学生が6名、計16名が講師として参加してくださいました。島根大学の学生は、10名中10名全員リピーターでございまして、松江高専のほうも6名中4名の方がリピーターで参加してくださいました。

小・中学生の参加ですが、申込者数が小学生が66名、中学生が16名の合わせて82名の参加でございました。小学生の66名は、今まで春休みに開催した中で最多の数になっております。延べ人数については、その下の表のとおりになっております。小・中学生ですが、今まで8回、算数・数学パワーアップ教室を開催しておりますが、8回連続全て参加している児童・生徒が2人おりました。そのうちの1人が今回中学校3年生で卒業ということで、最後に感想を求めたんですけれども、ぜひ高校でもやってほしいというような要望があって、とても楽しいというか、思い出深いものになったということをお話してくれました。

それから、今回初めて参加する児童・生徒は27名、全体の33%おりました、新規の児童・生徒の数も膨らんでいるかなというところでございます。

アンケート結果については表のとおりになっておりまして、大体90%以上の肯定的評価が得られているというところでございます。中学生の一つ、難しいにチャレンジしたい気持ちがというところが81%、これは16名中の3名がちょっと否定的回答でしたけれども、この3名が、いわゆる参加のきっかけが親の勧め、中学校3名がそのまま3名になっているというところでございました。

次のページに日程表がございまして、こういった形で3日間行わせていただきました。学生の企画は4つございまして、小学校の企画は、1つはトランプを神経衰弱のように裏返しにして、学生が指定した枚数をめくって、そのめくったトランプで指定した数を足す、引く、掛ける、割るを使って出すというような、ちょっとなかなか難しいものでしたけれども、子どもたちは楽しんでやっておりました。もう一つは、二桁の数をペアでお互いに何か1つ決めて、それを質問しながら解いていくというか、当てていくと。あなたの数字は偶数ですかとか、3で割り切れますかとか、そういったところで進めておりました。

中学校のほうの企画は、一つは少し難しいんですが、三次関数のグラフを、なぜそういうふうになるかっていうのをやって

おりました。それからもう一つは、中学生に算数、数学のクイズで、これもなかなか難解なものでございましたけれども、一つは3色のカメレオンがいて、赤が13匹、青が15匹、緑が17匹、それが色の違うカメレオン同士が対面をすると、それ以外の色になる。最終的に、その3色のカメレオンが1つの籠にいた場合、全部同じ色になるか否かという、なかなか難しい問題だったんですけど、これを中学生もいろいろ考えながらやっていて、楽しい時間を過ごしたかなと思っております。

長くなりましたが、報告は以上です。

領家教育長

ありがとうございました。

本日欠席の大庭委員から、この件について1つ質問がきております。

参加のきっかけ、学校の勧めっていうところを見ると少し数が少なくて、特に中学校はゼロっていうところが気になるんですけど、どうだろうかということ。これから学校からの周知について工夫が必要ではないかというようなご意見も含めて伺っているのですが、いかがでしょうか。

杉原参事

例年、学校のほうにもチラシを配布して、声かけをしながらお願いしますということをやっております。また例年、校長会で紹介させていただいておりますが、学校のほうにも今後さらにPRをして、参加者を増やす工夫は必要かなと思っています。

夏休みと冬休みは長期休業前に個人懇談等がございまして、そこで担任教師から保護者に勧めてというようなことはたくさんあったかなと思いますが、春休み前は個人懇談がなかったということも少し影響しているかなと思っておりますが、さらなるPRをこれから進めていきたいと思っております。以上です。

領家教育長

学校からの工夫っていうあたりもどうぞよろしく願いいたします。

そのほか、皆さんのほうからはいかがでしょうか。

原田委員

リピーターの大学生さん、島根大学生は10名中10名がリピーターということなんですけれども、今回何人募集されて何人の方が応募があつて、応募多数になった場合はどうされてるのか伺えますか。

杉原参事

一応、応募の上限みたいなのが20名というところで大学にはお願いしておりました。今回、応募があったのは11名でした。11名のうちの1名が、この前の週に発熱をされて、委員会のほうに発熱をしたんだけどということで相談があつて、大事を取って今回はちょっとやめましょうということで不参加になって

おります。そういった状況です。

原田委員

この場合、10名中10名がリピーターということになると、新規で申し込んでこられた方がおられないということをちょっと懸念しているのですけれども、どのような形でPRというか、お知らせされているのでしょうか。

杉原参事

島根大学には、CDPというプログラムがございまして、ボランティア活動をするようなプログラムの中に参加している学生、そういう学生に声をかけて募集しているということでございます。CDPプログラムに入っている学生さんの数がちょっと限られているというところで、あまり広がりが見られないというところでございます。

今年度は、今年の1年生から、こういった地域活動をするコースが新しくできたそうで、そちらのコースのほうにこのパワーアップ教室のプレゼンをさせていただいて、全部で16の企業があって、争奪戦というような形になると思うんですけども、そういったところにも声かけをしながら新規の学生を増やしていきたいなと思っております。

あと、今年度は新たに島根県立大学にもお声をかけさせていただいて、小学生とかたくさん参加するので、できれば講師がたくさんなるように、声かけを続けていきたいなと思っております。

原田委員

ありがとうございます。

領家教育長

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

報第17号 益田市文化財保護審議会委員の委嘱について

領家教育長

では続きまして、報告第17号益田市文化財保護審議会委員の委嘱について事務局から説明をお願いします。

田中課長

失礼いたします。

私からは、益田市文化財保護審議会委員の委嘱について説明させていただきます。まず訂正がございましたので、訂正させていただければと思っています。

山崎一郎氏、河田周氏、それから大森庸司氏の委員の経歴のところに、5期と3期と3期と書いておりますが、大変申し訳ありませんが、実は6期と4期、4期ということになっておりました。大変申し訳ありませんでした。訂正をよろしくお願いいたします。

それでは、益田市の文化財保護審議会の委員の委嘱について説

明いたします。

益田市の文化財保護条例、これは市内にあります文化財について、その保存及び活用のための必要な措置を講じ、もって市民の文化的向上に資するとともに、我が国の文化の進歩に貢献することを目的とするということで条例がつくられております。

その中で、審議委員会というものを設置しておりまして、この審議会につきましては、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議及びこれら事項に関して教育委員会に建議するということになっております。委員につきましては、7名となっております。委員の任期は、2年ということです。

このたび委員の任期が切れましたので、新たな委員を委嘱するということになっておりまして、7名のうち5名の方は再任、2名の方が新たに委嘱させていただいたところになっております。的野克之さんと会下和宏さんということになっておりますけども、的野さんのほうは島根県芸術文化センターのセンター長をやっておられまして、専門分野が美術、工芸等の専門分野ということになっております。また、会下さんのほうは島根大学総合博物館の館長ということで、専門が史跡とか考古学というところのご専門ということになっております。ということで、任期につきましては令和6年4月1日から令和8年3月31日の2か年間で委嘱するということになっております。

以上です。

領家教育長

ありがとうございました。

確認ですけれども、委員の経歴についてのところ、上から3段目までの方がそれぞれプラス1ずつ期を更新するという訂正がございましたので、よろしくお願いします。

それでは、この件についてはよろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

報第18号 秦佐八郎博士顕彰委員の委嘱について

領家教育長

続きまして、報告第18号秦佐八郎博士顕彰委員の委嘱について事務局から説明をお願いします。

田中課長

それでは、続いて失礼いたします。

秦佐八郎博士顕彰委員会の設置につきましては、郷土の誇りであります秦佐八郎博士の顕彰事業を推進するために委員会を設置しております。主に、顕彰事業の取り組みについて提言及び助言

をいただいたり、その他顕彰事業の推進について必要と認めることについて一緒に取り組んでいるというところであります。

委員につきましては、6名をもって組織しており、委員の任期につきましては2年ということになっております。このたび、新たに任期が切れたお二方を再度委嘱ということになっております。下から、齋藤哲瑋さんと、それから大森庸司さんの2名が令和6年4月1日から、齋藤さんについては教育委員会の委員の任期が終わる時期まで、それから大森さんについては2年間ということで、令和8年3月31日ということになっております。大森委員につきましては、文化財保護審議会の委員の推薦ということになっております。

以上です。

領家教育長

ありがとうございました。

齋藤委員については引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、この件についてはよろしいですか。

教育委員

=全員了承=

報第19号 益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について

領家教育長

では、報告第19号、益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について事務局から説明をお願いします。

齋藤課長

それでは、報第19号益田市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱に関しまして、資料に基づきご説明させていただきたいと思っております。

こちらにつきましては、毎年教育委員会が実施いたします事業の執行状況を各課のほうで自己評価しまして、この評価に関して点検評価を行っていくということで、外部評価委員会を組織し、そこでご意見をいただきながら公表していく流れを取っております。

このたび、委員につきましては、昨年度末に任期満了がなされましたので、新たに委員を選出するということでございます。資料に基づいて、4名の委員さんを委嘱したということで報告させていただきます。

4名のうち、お二人は再任という形になっております。お一人目、志々田まなみさんにつきましては、これまでもずっと行っていたいておりましたが、文科省の国立教育政策研究所の統括研究官というお立場の中で、益田市の外部評価に携わっていただい

ており、今回再任させていただきました。また、藤井一成さんにつきましては、元益田市立の中学校長ということで、こちらも前回の委員に引き続きという形で再任させていただくということになっております。

新たにお二人の委員さんが新任ということになります。お一人目が、森脇達也さん、元益田市立の小学校長ということで、いろんな学校の状況も含めて外部評価、この事業に関してのご意見等をいただきたいというふうに思いましてご依頼をしたというところでございます。さらに、今度は保護者の立場でということで、豊田美絵さん、こちらにつきましては、現益田市立の中西中学校のPTA会長さんということで、また今年度の益田市のPTA連合会の副会長というお立場での委嘱ということになります。保護者の観点からご意見をいただきたいというところになります。

この4名の方で、任期につきましては4月1日から2年間ということになりますが、いろんなご意見をいただきたいと思っております。

以上でございます。

領家教育長

ありがとうございました。

それでは、この件についてはよろしいでしょうか。

教育委員

＝全員了承＝

領家教育長

それでは以上をもちまして定例会を終わります。

次回は5月24日に定例教育委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。

＝終了時間 15時40分＝